

2022年5月31日

第8回新しい資本主義実現会議
「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(案)」に対する意見

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

- 約半年間にわたる議論を重ねグランドデザインおよび実行計画が取りまとめられた。持続可能な社会・経済の実現に向けて、企業の健全な発展や安定した雇用のもとで、誰もが将来の生活に希望を持てる環境整備や賃金をはじめとする基盤づくりへの資源分配の必要性など、連合からの意見を一定程度反映していただいたものと認識している。
- 特に、継続した賃金引き上げの実現に向けた環境整備としてのサプライチェーンにおける適正な価格転嫁、雇用形態間・男女間賃金格差是正の実効性の確保、また、女性の科学人材育成への支援の重要性などにも触れていただいた。
- 今後の要望であるが、今回の計画で掲げられた各施策の具体策を検討する際には、労働者にどのような影響を与えるのかということも考慮した検討を行うとともに、PDCAサイクルのもと、実効性あるものとして機能されるよう政府の努力を求めたい。
- 加えて、今後さらに検討を深めていただきたい課題として一点申し上げる。
DXやGXなど産業構造の大きな転換により起こり得る雇用や地域経済へのマイナス面を最小限に抑えるためには、「公正な移行」の実現が不可欠である。労働組合を含む多様な関係主体が参画する社会対話が積極的に行われ、その結果が政策に反映されることが必要であり、社会対話の場の設置に向けた検討を引き続きお願いしたい。

以上